

Useful Expressions For You! - Vol.2

8月のテーマはJ-pop and Enka. あなたはどんな音楽が好きですか? 自分の好きな音楽を人に説明できたら楽しいですね。あなたが使いたい表現を覚えてみましょう。

A: Did you watch Music Station last night?

B: Yes! I like watching the TV program every week!

A: Oh yeah? You mean, you like J-pop music?

B: Yeah. J-pop music is very melodious! I don't know the words
but its fun.

A: Is J-pop music popular in the U.S.?

B: Sadly, it is not. You know what? I bought some CDs of
Japanese singers the other day.

A: That's good. But...did you go to Haruya Music Store?

B: No. Why? Was there anything special if I visit there?

A: Yes. You could buy one and get one free!

B: Gosh! I should have known that! Oh, by the way, do you
happen to know about Enka? (↑次のページに解説有)

A: Well, Enka is a kind of traditional singing-style music. It is rather emotional. We can say it expresses heart of Japanese.

B: Heart of Japanese! Wow. That's very attractive to me.
I have to listen to Enka, too! Can you help me to find Enka at
the store next time?

A: Sure.

B: Do you know any good Enka singer?

A: Yes. Kiyoshi Hikawa. He is one of our youngest Enka singers.
And he is very cute!

B: Oh, really? Then I have to try listening to his music.

A: He is, you know, a kind of new type of Enka singer. He has
various age-groups of fans.

Useful Expressions For You! (日本語訳)

A: 昨夜のミュージックステーション見た？

B: 見たよ。毎週好きで見てるんだよ。

A: そうなんだ。つまり、J-ポップが好きなの？

B: うん。J-ポップはとってもメロディアスだしね。歌詞はわからないけど楽しいよ。

A: J-ポップはアメリカでも人気があるの？

B: 残念ながら・・・ないな。あ、そうだ。聞いてよ。先日日本の歌手のCDを買ったんだよ。

A: よかったね～。でも、春屋ミュージックストアに行った？

B: 何で？そこに行ったら何か特別なことがあったの？

A: うん。一つ買ったら、もう一つただでもらえたのに。

B: ええ～！知ってたらよかった！話かわるけど、演歌のこと、たまたま知ってたりする？

A: う～ん、演歌っていうのは、一種の伝統的な歌い方の歌かな。かなり感情的なやつだね。日本の心っていうこともできるかな。

B: 日本の心か～。へえ～魅力的だな～。演歌も聴いてみなきゃいけないな。今度その店で演歌を探すのを手伝ってくれる？

A: いいよ。

B: 誰かいい演歌歌手を知ってる？

A: うん。氷川きよしかな。彼は日本の若い歌手の一人だし、とってもかわいいんだよ。

B: へえ～そうなの？彼の曲も聴いてみなきゃね。

A: 彼は新しいタイプの演歌歌手で、いろんな年齢層のファンがいるんだよ。



Grammar Tips for your Understanding!

今月は次の文章を取り上げてみたいと思います。

” I should have known that!” 「知ってたらよかったな～。」

ここで大切な表現の塊は **should have known** のところです。文法的にはこれは仮定法過去完了と呼ばれる形。もっと平たく言うなら、実現しなかったことに対する後悔の念を表す表現とでも言えるでしょう。日常生活で「ああしておけばよかった。こうしておけばよかった。」と残念に思うシーンは結構あるものです。そんなときはこの **should have+過去分詞** の形を使います。例えばこんな文はどうでしょうか。

1. あの時彼女の名前を知っていたらな～。(実際は知らなくて声をかけられなかった、とか。)

I should have known her name.

2. 宝くじを買っておけばよかったな・・・。(実際は買わなかった。)

I should have bought the lottery.

3. 昨日食べ過ぎなきゃよかったな。(食べすぎで今日は気分が悪くなったりして。)

I shouldn't have eaten too much yesterday.

3の文章のように **shouldn't(should not の短縮)have+過去分詞** で「～しなければ(よかった)」という表現も可能になります。とにかくこれは「後悔の表現」なんだと覚えておくと使いやすいですよ。